

# 御嶽山の噴火警戒レベル

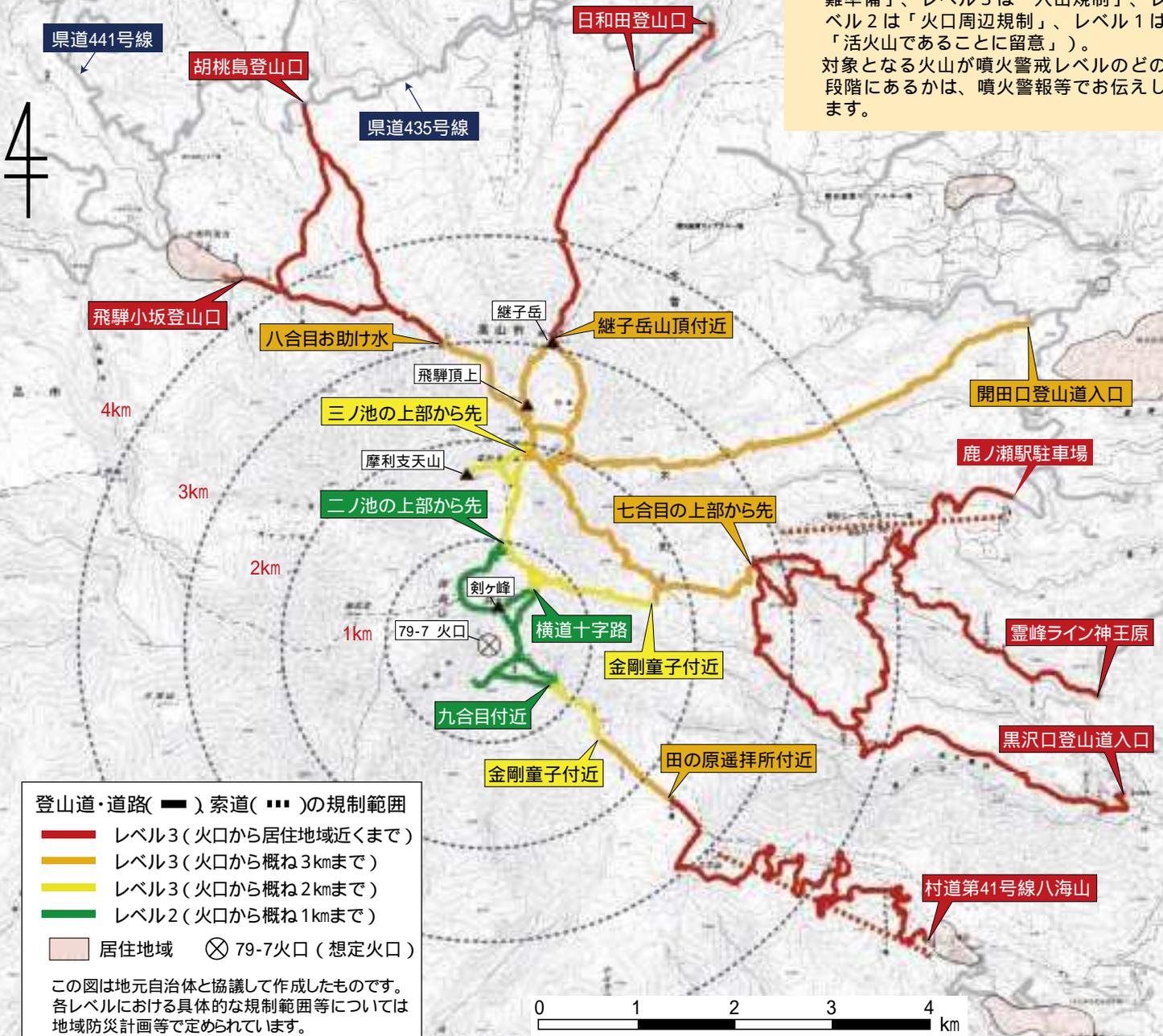
— 火山災害から身を守るために —

噴火警報等で発表する

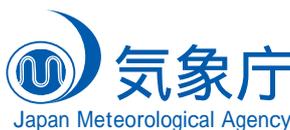
## 噴火警戒レベル

噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています（レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」）。対象となる火山が噴火警戒レベルのどの段階にあるかは、噴火警報等でお伝えします。

この図は79-7火口で噴火した場合の噴火警戒レベル2（火口周辺規制）及び3（入山規制）の規制範囲を示しています。レベル3は、火山活動の状況により規制範囲が変わります。居住地域まで影響が及ぶ場合にはレベル4（避難準備）及び5（避難）となります。（レベル1（活火山であることに留意）の時は八丁たるみ内立ち入り規制）  
1979年の噴火で発生した火口のうち、現在も噴気活動が継続している火口です。



御嶽山 噴火警戒レベルに応じた防災対応（レベル2～3、想定火口：79-7火口）



問い合わせ先  
気象庁地震火山部火山課火山監視・情報センター  
TEL: 03-3212-8341 (内線4526) <http://www.jma.go.jp/>  
長野地方気象台 防災業務課  
TEL: 026-232-3773 <http://www.jma-net.go.jp/nagano/>  
岐阜地方気象台 防災業務課  
TEL: 058-271-4108 <http://www.jma-net.go.jp/gifu/>

本冊子は、FSC認証紙および植物油インクを使用しています。

